

全国在宅療養支援診療所連絡会 第3回全国大会 プログラム別詳細

<p>タイトル</p>	<p>事務長どこへ行く?! ～診療所運営における事務長の役割とは～</p>
<p>日時</p>	<p>平成28年3月12日 16:00-18:00</p>
<p>会場</p>	<p>第3会場(605)</p>
<p>座長</p>	<p>木原信吾(医療法人ゆうの森)</p>
<p>演者</p>	<p>小玉直人(コールメディカルクリニック広島) 長崎琢磨(在宅サポートながさきクリニック) 村上典由(桜新町アーバンクリニック) 園田愛(祐ホームクリニック)</p>
<p>企画趣旨・概要</p>	<p>診療所運営を支える事務長には様々な役割が求められ、医療事務から総務・広報的業務まで事務部門を横断的に把握、統括すると共に、診療所運営全般や事業拡大に対する経営的センスも求められる存在であろうかと思われます。</p> <p>地域や規模、診療形態、さらには目指す方向も異なる全国の様々な診療所の事務長職に登壇いただき、それぞれの事務長にどのような役割を果たしているか例示いただき、「事務長」と云う言葉でひとくくりにされている、事務長職の仕事や役割について、違いや考え方について、まずは炙り出したいと思います。</p> <p>来年4月には厚労省が訪問診療の専門診療所を認知する(方針)など、今更の順風(?)の中、この後私たちはどのような診療所運営を目指していくべきなのか、もちろんそれぞれの診療所において目指されることは必然的に異なると思うのですが、各事務長職が組織の発展(規模の拡充、風土の醸成、地域での役割など)のために、自組織をどう導いていこうとしているのかについて話題を進め、そして今後、事務長として果たすべき役割や夢は何なのかについて言及して頂きたいと思います。</p> <p>このセッションに参加された皆様(むしろ他の職種の方が多いかもかもしれませんが)が、それぞれの話題の中で、様々なヒントや道しるべを得、そして何より「事務長も頑張ってるなあ、自分も明日からまた頑張ろう!」と云った気持ちになるようなセッションにしたいと考えています。</p> <p>是非ご参加ください!</p>

(敬称略)